
4年研究授業計画

東二番丁小学校 4学年担任 村上 竜也

1 研究授業で目指す児童像

課題に対する自分なりの考えを持ち、言語を使って分かりやすく伝え合い、自らの考えや集団の考えを広げて深める。

2 児童の実態

音読や発表にとっても意欲的で、発問に対して自分の考えを相手に伝えようとする児童が多い。しかし、自分の考えに自信が持てず、発表をためらってしまったり、自己解決しようとせず友達が発表するのを待ったりする児童も見られる。そのような児童には、自信を持って発表できるような場の設定が必要になると考える。読むことに関しては、人物の様子や気持ちを思い浮かべて音読することができ、読むことに抵抗を感じる児童は少ない。書くことに関しては、自分の考えを文の構成を考えながら上手にまとめて書くことができる児童もいるが、自分の考えをうまく文章にできない児童もあり、個人差は大きい。

3 授業研究計画

- (1) 説明的な文章の読み取りを通して、文や言葉のつながりを考え、同じような内容が書かれている段落を関連付けながら自分の考えを持って交流し合う。
- (2) 説明的な文章の読み取りを通して、筆者の考え方を明確にした上で、それに対しての自分の考えを持ち、考えたことを交流し合い、深め合う授業。

4 授業技術課題

- ・ 分かりやすい端的な指示や発問する。
- ・ 児童の考えを分かりやすくまとめ、伝える。